

当院における尿路ろう治療の検討

1. 研究の対象

2000年1月1日から2016年3月1日までに国立がん研究センター東病院で尿路ろう手術を行った方々を対象とします。

2. 研究の概要

手術により対象とする方々の尿路ろうがどの程度治っているか、手術合併症の程度や、術後の生活の質が低下していないかを調べます。

3. 研究の意義と目的

本邦では現在まで尿路ろうを手術で治した治療成績はあまり多くは報告されていません。私たちの施設はこの手術の経験が豊富なため、より質の高い研究が出来、その成果が今後同様の治療が必要な方の指標となったり、新たな治療を試みる場合の土台になることが期待できます。

4. 方法

2000年1月1日から2016年3月1日までに国立がん研究センター東病院で尿路ろう手術を行った方々を対象にして診療録を見直し、治り具合や手術に関する項目を幅広く調べます。それによって、尿路ろう手術に関する重要な事項や合併症を防ぐために必要な事項を調べます。

5. 個人情報保護に関する配慮

閲覧する診療録等には個人情報が含まれ、研究結果は関連学会でまたは論文として公表します。しかし公表の際に研究対象者の氏名、個人が特定されるような情報等を公表することはありません。また患者さん等からのご希望があれば、その方の診療録は研究に利用しないようにしますのでいつでも下記まで申し出てください。

研究責任者

国立がん研究センター東病院 形成外科 櫻庭実

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉6-5-1

国立がん研究センター東病院 泌尿器・後腹膜腫瘍科 酒井康之

TEL 04-7133-1111 / FAX 04-7131-4724